

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)

【公開番号】特開 2012-162575 (P2012-162575A)

【公開日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【年通号数】公開・登録公報 2012-034

【出願番号】特願 2012-127967 (P2012-127967)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/04 (2006.01)

A 0 1 N 27/00 (2006.01)

A 0 1 P 21/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 25/04 1 0 2

A 0 1 N 27/00

A 0 1 P 21/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 28 日 (2012.9.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

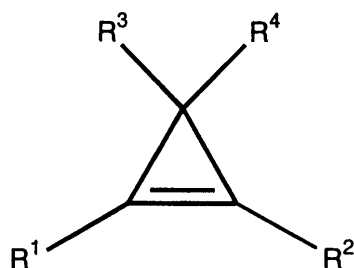
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

油媒体を含む組成物であって、固体粒子が前記油媒体中に懸濁され、前記固体粒子がシクロプロペンと分子封入剤を含み、及び前記固体粒子が最大寸法で測定して 50 マイクロメートル以下の中央値サイズを有し、かつ前記シクロプロペンが下記式を有する任意の化合物であり、前記分子封入剤が置換シクロデキストリン及び非置換シクロデキストリンからなる群から選択される組成物：

【化 1】



(前記式中、各 R^2 、 R^3 および R^4 は水素であり及び R^1 は ($C_1 \sim C_8$) アルキルである)。

【請求項 2】

前記油媒体が 1 種以上の分散剤を含む請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

前記油媒体が 1 種以上の非イオン性界面活性剤を含む請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

前記油媒体が、3～4 の HLB 値を有する 1 種以上の非イオン性界面活性剤および 8～10 の HLB 値を有する 1 種以上の非イオン性界面活性剤を含む請求項 1 記載の組成物。

【請求項 5】

前記油媒体が、水中に懸濁された液滴の形である請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】

前記油媒体が、前記組成物の連続的媒体を形成する請求項 1 記載の組成物。

【請求項 7】

前記粒子が 20 以下の平均アスペクト比を有する請求項 1 記載の組成物。

【請求項 8】

請求項 1 記載の組成物を植物または植物部分に接触させることを含む植物または植物部分処理する方法。

【請求項 9】

請求項 1 記載の組成物の形成方法であって、前記方法が、媒体粉碎機に、前記シクロプロペンと前記分子封入剤とのシクロプロペン錯体を含む固体粒子と油と分散剤を含む混合物を作り、前記混合物を粉碎することを含み、前記粒子が、前記粉碎後に、最長長さで測定して 50 マイクロメートル以下の中央値サイズを有する方法。

【請求項 10】

前記油が 75 以上の沸点を有する、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 11】

前記油媒体が 1 種以上の分散剤を含み、かつ全ての分散剤が分子あたり 4 つ以上の疎水性基を有する、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 12】

全ての前記分散剤が 5 ~ 7 の HLB 値を有する、請求項 1 1 記載の組成物。

【請求項 13】

前記分子封入剤がアルファ - シクロデキストリン、ベータ - シクロデキストリン、ガンマ - シクロデキストリンまたはその混合物である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 14】

前記分子封入剤の少なくとも 1 種が、1 つ以上のシクロプロペンまたは 1 つ以上のシクロプロペンの一部を有する包接錯体を形成する、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 15】

前記シクロプロペンが 1 - メチルシクロプロペンを含み、および前記分子封入剤がアルファ - シクロデキストリンを含む、請求項 1 4 記載の組成物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

本発明の一態様において、油媒体を含む組成物であって、粒子が前記油媒体中に懸濁され、該粒子がシクロプロペンと分子封入剤を含み、及び該粒子が最大寸法で測定して 50 マイクロメートル以下の中央値サイズを有する組成物が提供される。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0051

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0051】

油媒体中に懸濁された本発明の粒子は、最大寸法で測定して 50 マイクロメートル以下の中央値サイズを有する。すなわち、粒子の集団を評価してサイズを決定する。ひとつの好適な評価方法は、例えば、顕微鏡を用いる検査である。粒子の像、例えば顕微鏡で得られたこれらの像を、場合により長さ基準を参照して、目で検査し評価することができ、あるいはその像は適切な像解析方法、例えば、コンピュータプログラムなどによって検査し評価することができる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0052

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0052】

粒子が球ではない実施形態において、各粒子の最大寸法によって粒子を特徴付けることが有用である。粒子の集団は最大寸法の中央値によって特徴付けることができる。すなわち、集団中の粒子の重量の半分は集団の中央値よりも大きな最大寸法を有する。本発明の実施において、油媒体中に懸濁された粒子の集団が評価されるとき、その中央値は50マイクロメートル以下である。いくつかの実施形態において、中央値が20マイクロメートル以下、または10マイクロメートル以下、または5マイクロメートル以下、または2マイクロメートル以下の粒子が用いられる。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0089

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0089】

本発明の組成物は、任意の方法によって製造することができる。いくつかの好適な方法において、出発物質は油、分散剤、場合によって界面活性剤、およびシクロプロペン錯体である。いくつかの実施形態において、シクロプロペン錯体出発物質はシクロプロペン錯体を含む粉末粒子の形であり、粉末粒子は最大寸法で測定して50マイクロメートルよりはるかに大きな中央値サイズ（例えば、200マイクロメートル以上）を有する。いくつかの実施形態において、出発物質は媒体粉砕機に投入し、次いで、所望の粒子サイズが得られるまで粉砕することができる。いくつかの実施形態において、粉砕プロセスは粒子が最大寸法で測定して50マイクロメートル以下、または20マイクロメートル以下、または10マイクロメートル以下、または5マイクロメートル以下、または2マイクロメートル以下の中央値サイズを有するまで行うことができる。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0122

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0122】

以下の実施例において、以下の物質が用いられた。

〔錯体1〕= 1-MCPとアルファ-シクロデキストリンの錯体を含む乾燥粉末であり、3.8重量%の1-MCPを含む。最長寸法で測定して中央値サイズが100マイクロメートルより長い。平均アスペクト比は50を超える。

〔油P1〕= Whitmire Micro-Gen Companyによるアリアルアルキルエトキシレート界面活性剤を含むパラフィン油。

〔油P2〕= Petro Canada Companyによるパラフィン油。

〔Brig (商標) 30〕= 界面活性剤: Grodaによる(エチレンオキシド)₄ラウリルエーテル(HLB9.7)

〔Silwet (商標) L-77〕= 界面活性剤: OSI Specialtiesによる非イオン性シリコーン(HLB5~8)

〔Atlox (商標) 4914〕= 分散剤: Crodaによるポリ(エチレンオキシド)とアルキド樹脂のブロックコポリマー(HLB6)

〔EDTA〕= エチレンジアミン四酢酸、ナトリウム塩。

〔Atsurf (商標) 595〕= 界面活性剤: Croda Company製のグリコ

ールモノオレート（HLB 3.8）。

〔Dyne-Amic（商標）油〕= Helena Chemicals による、有機シリコン系界面活性剤と組み合わせた高度に精製されたメチル化植物油の混合物。

〔油エマルジョン1〕= 99.62重量部の水に0.38重量部のDyne-Amic（商標）油を添加し、攪拌されている。

〔Rizo（商標）油〕= Rizo bacter Company による、乳化性メチル化大豆油。

〔Soy Gold（商標）1100〕= Ag Environmental Products Company による、メチル化大豆油。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0123

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0123】

〔実施例1〕配合物Bの形成

以下の成分を媒体粉碎機に添加した。

292.4 g の油 P 1。

102.0 g の錯体 1。

5.6 g の Atlox（商標）4914。

成分の混合物を、中央値粒子サイズが最大寸法で測定して2マイクロメートル未満になるまで媒体粉碎機中で処理した。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0124

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0124】

〔実施例2〕配合物Cの形成

以下の成分を媒体粉碎機に添加した。

194.2 g の油 P 2。

175.0 g の錯体 1。

6.0 g の Bri j（商標）30。

18.0 g の Silwet（商標）L-77。

6.8 g の Atlox（商標）4914。

成分の混合物を、中央値粒子サイズが最大寸法で測定して2マイクロメートル未満になるまで媒体粉碎機中で処理した。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0125

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0125】

〔実施例3〕配合物Dの形成

以下の成分を媒体粉碎機に添加した。

200.4 g の Soy Gold 1100。

180.0 g の錯体 1。

10.0 g の Silwet（商標）L-77。

4.0 g の Atlox（商標）4914。

5.6 g の EDTA。

成分の混合物を、中央値粒子サイズが最大寸法で測定して２マイクロメートル未満になるまで媒体粉碎機中で処理した。